平成 30 年度　岡崎市防災会議　会議録

1　日　時

平成 31 年３月７日（木）午後３時から午後４時 30 分まで

2　場　所

岡崎市役所東庁舎２階　大会議室

3　出席者及び欠席者

別紙のとおり

4　説明のため出席した事務局の職員

深田防災担当部長、小林土木建設部長

桑山防災課長、田口河川課長

5　傍聴者

なし

6　次 第

(1) 開　　会

(2) あいさつ

(3) 防災講演

「大規模災害時の避難者支援」について

名古屋大学減災連携研究センター特任准教授　荒木裕子

(4) 議　　案

岡崎市地域防災計画の修正について

岡崎市地域防災計画の修正要旨　【資料１】

関係機関等による主な修正意見　【資料２】

地震災害対策計画新旧対照表　【資料３】

風水害等対策計画新旧対照表　【資料４】

(5) そ の 他

平成 31 年度岡崎市地域総合防災訓練（案）について　【資料５】

2019 年豊川・矢作川連合総合水防演習・広域連携防災訓練について　【資料６】

(6) 閉　　会

7　議事の要旨

開会のことば

＜事務局＞

ただ今から平成 30 年度岡崎市防災会議を開催させていただきます。

本日の進行を務めます、防災担当部長の深田でございます。よろしくお願い申し上げます。

はじめに、本会の開催にあたりまして、岡崎市防災会議条例第８条第２項で規定する定足数に達しておりますので、本会議の開催が成立しておりますことをご報告させていただきます。

なお、出席者及び代理出席者等の報告につきましては、資料にあります委員名簿に代えさせていただきます。また、愛知県ＬＰガス協会さまにおかれましては急遽欠席となっております。

今回、本防災会議委員といたしまして、愛知県西三河県民事務所　所長　丹羽邦彦さま　始め 15 名の委員の交代がございました。また、愛知県行政書士会　岡崎支部さま　に新たに加わっていただき、竹田雅彦さまに委員としてご就任いただいております。

本日の議題でございますが、本年度は地域防災計画の修正のみを議題とさせていただきます。国民保護の修正につきましては、軽微な変更であり、会議に諮る必要がない旨を、県にも確認しております。

開会にあたりまして、本会議の会長であります内田市長よりごあいさつを申し上げます。

あいさつ

＜会長＞

皆様、こんにちは。市長の内田であります。

本日は、ご多用の中、平成 30 年度の岡崎市防災会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、日頃より本市の防災行政に、多大なるお力添えをいただいておりますことを、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、その年の世相を表す「今年の漢字」に、「災」が選ばれたように、大阪府・北部地震や、北海道・胆振東部地震、平成 30 年７月豪雨など、自然災害が全国各地で多発し、被災地では甚大な被害が発生したところであります。

本市におきましては、大規模な災害には幸いにも至っておりませんが、今年度は６回、災害対策本部を設置する事案があり、風雨による被害が発生いたしました。殊に、台風第２４号の際には、建築災害・安全協力会様を始め、本日お集りの各機関の皆様には、迅速な災害対応をいただき、被害を最小限にとどめることができました。

心より感謝申し上げますと共に、今後も引き続きご協力を賜りますよう、よ

ろしくお願い申し上げます。
　また、本市におきましても、近年、南海トラフ地震の発生が危惧されておりますが、過去の被災都市では、国や関係機関などからの支援を、有効に活用できなかったとお聞きしております。
　そこで、本市ではこれを教訓といたしまして、現在、「人的・物的支援に係る受援計画」の策定を、執り進めております。
　さらに、市民の防災意識の向上を目的としまして、今年度、防災指導員制度を創設したところであります。各小学校区に２名配置し、啓発活動や、市の防災事業への協力などを中心に、ご活躍いただいております。
　その他にも、国や県のご協力をいただきながら、道路や河川をはじめとした、都市基盤の整備を進めております。
　しかしながら、時として、施設の能力を超える災害が発生いたします。
　本市といたしましても、引き続き、市民の皆様に対しまして、「自分の命は自分で守る」という認識のもと、自助・共助の意識を高める活動を、さらに推進してまいります。
　このように、今後も各分野の防災力を高めるとともに、総合的な防災力を向上させ、災害に強い岡崎となるよう、皆様と連携しながら、防災・減災対策に取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
　最後になりますが、委員の皆様におかれましては、活発な発言をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

＜事務局＞
　ありがとうございました。本会議でございますが、岡崎市防災会議条例第４条におきまして、防災会議の会長が会務を総理することになっておりますので、これよりの議事の進行については内田市長が務めます。それでは、市長、よろしくお願いたします。

＜会長＞
　それでは、はじめに「岡崎市附属機関の会議の公開に関する要領」に基づきまして皆様にお伺いたします。
　本日の会議を公開とすることについてご異議はございませんでしょうか。
　（異議なし）
　ご異議が無いようですので、本日の会議は公開といたします。
　なお、現時点で傍聴人はありませんが、以後、申し出があった際には入室を許可します。

防災講演

＜会長＞

それでは、次第３にあります防災講演について、学識経験者といたしまして、名城大学の柄谷友香教授に替わりまして、本会議の委員にご就任いただきました、名古屋大学減災連携研究センター特任准教授　荒木裕子委員から、ご講演をいただきたいと思います。荒木委員、よろしくお願いいたします。

＜荒木委員＞

「大規模災害時の避難者支援」について説明。

＜会長＞

ありがとうございました。せっかくの機会ですので、荒木委員の講演内容について、ご質問などはございますでしょうか。

ご質問もないようですので、引き続き次第４の議事「岡崎市地域防災計画の修正について」事務局の説明を求めます。

議　　案

＜事務局＞

資料１～４により説明

＜会長＞

ただ今、事務局から説明のありましたことについて、ご意見・ご質問等は、ございませんでしょうか。

それでは、ご意見・ご質問は無いようでありますので、岡崎市地域防災計画の修正については、原案のとおりとすることでご異議ございませんでしょうか。

（異議なし）

ご異議ないようですので、原案のとおりで決定することといたします。

以上で本日の防災会議に付議した案件は全て議了いたしました。ご審議ありがとうございました。

なお、本日の議案にかかる誤記や組織名称、数値等の修正につきましては、事務局に一任させていただきたいと思います。

そ の 他

＜会長＞

続いて、次第５の「報告事項」の（１）について事務局の説明を求めます。

＜事務局＞
「平成 31 年度岡崎市地域総合防災訓練（案)」について、資料５により説明

＜会長＞
続いて、（２）について豊橋河川事務所長　澤頭委員からご報告をいただきます。それでは、澤頭委員お願いします。

＜澤頭委員＞
「2019 年豊川・矢作川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」について、資料６により説明

＜会長＞
澤頭委員ありがとうございました。せっかくの機会ですので、会議全般や防災に関することにつきまして、ご報告等はございますでしょうか。

（中部電力岡崎営業所長　髙井委員挙手）

＜会長＞
それでは、中部電力岡崎営業所長　髙井委員お願いします。

＜髙井委員＞
「中部電力㈱の停電対策」について追加配布資料で説明

＜会長＞
髙井委員ありがとうございました。他にご報告等はございますでしょうか。

ありがとうございました。今後とも、本市の防災行政につきまして、皆様方のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げまして、議事を終了させていただきます。
それでは、会議の進行を事務局に返します。

閉会のことば
＜事務局＞
ご審議ありがとうございました。以上をもちまして、平成 30 年度岡崎市防災会議を閉会させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございました。